

とうきょう すくわく プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

すみれ保育園 実践紹介！

とうきょう すくわくプログラムってなに？

幼稚園や保育所において、子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

すくすく

すべての乳幼児の
伸びる・育つ

×

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム

東京都

「非認知能力」の育成等、乳幼児の成長・発達をサポート

なんで？



好奇心を持つ
きっかけを増やす

どうして？

できるかな？

こうしてみよう！



考えを広げる

できた！

今度はあれを
やってみようかな



考えを深める

すくわくプログラムはどんなことをするの？

安全安心な環境のもと、子供たちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

非認知能力とは

自己に

かかわる心の力

- 自尊心
- 自己肯定感
- 意欲
- 粘り強さ

社会性に

かかわる心の力

- 心の理解能力
- 共感
- 思いやり
- 協同性

テーマに関する子供たちの考えやイメージを引き出すための問い（例：〇〇ってなあに？）を考え、素材や道具を準備し活動を行います。

テーマ例：光・色・自然・音・泥遊び・絵本など

豊かな心の育ちを応援

乳幼児期は、「非認知能力」を培う大切な時

東京大学大学院 教育学研究科 教授 同附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) 長 遠藤 利彦

子供が伸びやかに成長していくためには、無限大の好奇心に従って、心躍らせながら遊び学ぶことが重要です。また、同年代の子などと互いの個性を認め合いながら、1つのことに協力して取り組むことも大切です。この認識のもと、東京都とCEDEPは、「とうきょうすくわくプログラム」の支援に連携して取り組んでいます。



とうきょうすくわくプログラムは
こちらからご覧いただけます。

とうきょうすくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) との協定の下、東京都の「とうきょうすくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



社会福祉法人不動福祉会
すみれ保育園

電話
042-513-3410

所在地
東京都福生市福生959-8



すみれ保育園で

0歳児
クラス



とうきょうすくわくプログラムに取り組みました

テーマ 光

普段の保育の中で、保育室に差し込む光や、水遊びの時に水に反射する光、屋根に映る木の影などに0歳児が興味を示す姿が多く見られていたことから、光をテーマとしました。

活動① 水面の光1

「光ってなんだろう？」という問いをもとに、テラスに水を入れた水槽を用意して、光と水の関係性を探ることをねらいとした活動を行いました。

子供たちが自分から手を使って水面を揺らしたり、先生が水をすくい上げる様子を真似したりする様子が見られました。



普段動きがゆっくりである子供の視線に合わせて、動きを注意深く見てみると、水滴が落ちた場所に目線や手を動かすなど、ちょっとしたことに気付いていたことに驚きました。

活動② 水面の光2

水を入れた水槽を屋内のトレース台の上に設置し、周りから卓上ライトで光を当て、水の様子を観察しました。

水や光の見え方が屋外と違うことに気付いたためか、水槽を上から見たり、下から見上げるなど、より注意深く観察していました。



ペットボトルを水の中に入れると浮き上がることを発見し、何度も繰り返し試していました。長時間集中している様子が見られました。

活動③ 光と白い紙

様々な種類の紙に、卓上ライト、OHPなどの光を当て、自由に紙に触れながら光と影の様子を探究しました。

OHPで壁に投影された紙の影を見て、紙を動かすことで影が動くことを発見し、持ち上げたり、下げたり、何度も試す様子が見られました。



活動④ 落ち葉に出会う

テラスでたくさんの落ち葉と触れ合う活動を行いました。

葉っぱに触れた子ども達は、ひらひらと動かしたり、顔にあてたりはじいたりして、見える見えないを繰り返したり、足に挟んで力を入れながらちぎったり、しゃがんで葉っぱを上に向けて投げたりするなど、全身を使って試している様子が見られました。



活動⑤ 光と落ち葉の探究

葉っぱと光の反射に対する興味を深めるというねらいを持って活動を行いました。床に敷いたミラーシートの上に落ち葉を並べ、卓上ライトで照らしながら落ち葉を観察しました。葉っぱにライトを当て、見え方が変わることを発見していました。

様々なものに触れる活動を行ってきたことから、散歩に行った時も子供たちの葉っぱの触り方が今までと違ったように見えました。

